日本共産党 和歌山市会議員
ひめだ高宏ニュース
NO.1409
'22.10.18

知事選挙に松坂みちろさん

日本共産党和歌山県委員会は、11月10日告示、27日投票の知事選挙に、松坂みちろさんを擁立することを発表しました。下角力党県委員長の訴えは次のとおりです。

「4つのチェンジ」を掲げて

みなさんもご存じのように、今秋の県知事選挙に松坂みちろさんが立候補を決意してくれました。知事選挙は11月10日告示、27日投票で行われます。現職の仁坂知事が立候補しないため、知事選で16年ぶりに知事が交代することになります。

この30年近く、県知事選は日本共産党と「県つくる会」が自民党系候補とたたかってきました。今回は、党公認候補として松坂さんが立候補し、県政の転換に挑戦します。

仁坂知事は「和歌山IR誘致」だけが県勢振興のよりどころであるとの立場に固執し、県民に冷たい県政を進めてきました。

松坂さんは、茨城県と和歌山市で16年の議員経験を持つ地方自治に通じた政治家です。和歌山市議会では、和歌山IR・カジノ計画に反対して大奮闘してきました。また、高齢の難聴者への補聴器の補助を初めて要求し、LGBTQの問題も市議会で初めて取り上げ、偏見をなくすために市の施策を求めるなど、ジェンダー平等を推進してきました。

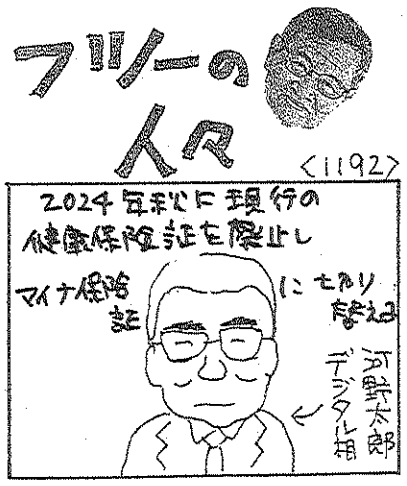
松坂さんは、仁坂県政の継承ではなく、「4つのチェンジ」を掲げて知事選に挑戦します。

①カジノ頼みではない暮らしを支える経済振興
②社会保障削減政策から県民の福祉、暮らしを守る
③子育て支援
④ジェンダー平等を実行する

突然の知事選への挑戦となりましたが、松坂みちろさんの勇気と熱意にみなさんのご協力をお願いします

党県委員長 下角 力

フリーの人々 〈1192〉



今週のフリーの人々（その355）

マイナンバーカード強制

河野太郎デジタル相が健康保険証を2024年秋に廃止し、マイナンバーカードと一体化させると表明。今、マイナンバーカードの取得は法律で任意とされています。期限を切った健康保険証の一律廃止の突然の発表に、反対のネット署名が2日間で9万3千人分集まったとマイナンバー制度反対連絡会は発表。

マイナンバーカードの交付率は全人口の49%、昨年10月に運用が始まったマイナ保険証の利用者は全人口の約2割。マイナ保険証を利用できる医療機関は現時点で3割しかありません。導入した医療機関からはシステムなどのトラブルが報告されており、保険証廃止を強行すれば混乱は必至です。認知症など手続きが困難なかたもいます。国会の審議もなく政府への不信が強まるだけです。

ひめだ高宏

9月定例市議会報告

議員発議で3件の意見書

10/7 最終日

発議1号「水道施設整備の採択条件の緩和及び補助制度の新設を求める意見書」は、六十谷水管橋の崩落を受け、今後、市内全域の安定給水を確保するため、各配水池への送水管路の複線化や新浄水場建設に必要な補助制度の緩和（対象拡大）や新設を求めるもので、日本共産党も提出者に加わり可決しました。

発議2号「GIGAスクール構想実現に係る環境の維持及び修繕に要する財源の確保を求める意見書」は、国の補助金により児童生徒に1人1台パソコン端末を購入したものの修理や買い替え費用の財源確保を国に求めるもので、日本共産党も提出者に加わり可決しました。

発議3号「北朝鮮のミサイル発射に対する厳重抗議と断固たる措置及び防衛体制の強化を求める意見書」は、北朝鮮が10月4日、中距離弾道ミサイルを発射し、東北地方上空を通過させ、太平洋側の排他的経済水域の外側に着弾させるなど、本年に入り25回ものミサイル発射を行うなどの軍事的挑発に厳重に抗議するとともに、ミサイル対処能力などの防衛体制の強化を求めるものです。日本共産党は、抗議には賛成できることから、「ミサイル対処能力の強化による防衛体制の強化を図るよう強く求める」ことを削除するよう事前に求めましたが受け入れられませんでしたので、提出者に加わらず、棄権しました。

決算特別委員会運営日程

月日(曜)	会議	
10.7(金)	決算特別委員会	委員長の互選等
17(月)	〃	決算審査意見書説明
18(火)	分科会	総務・経済文教
19(水)	〃	厚生・建設企業
20(木)	〃	総務・経済文教
21(金)	〃	厚生・建設企業
26(水)	決算特別委員会	分科会報告、討論、採決

面白かった「七人の墓友」

演劇 和歌山

10月15日（土）夜、県文小ホールで演劇集団和歌山公演「七人の墓友」を見ました。誰がどのお墓に入るかという話なのに最初から最後まで笑いが途絶えず、テンポは軽妙で寝る間もない、たいへん面白い舞台でした。頑固な父と優しい母、長男夫婦と独身の長女、次男とそのパートナーによる訳あり家族の再生話と母親の朗読サークル仲間による共同墓地の2つの話が同時進行します。どこでも親父はツラいんだなと苦笑い。

こんにちは！松坂みちこです

知事選挙に挑戦します

私は、前回次点だった県議会議員選挙へ、今度こそ当選をと活動して参りましたが、このたび日本共産党県委員会から11月の県知事選挙に党公認候補として立候補してほしいとの要請があり、応えることを決意しました。

私にとっては、まさしく青天の霹靂（せいてんのへきれき）ですが、住民のいのちと暮らしを守り豊かにする、住民本位の県政を追求する立場に変わりはありません。引き続き、街頭からの訴えや訪問活動に取り組んで参ります。ぜひ、みなさんの声、願いもお聞かせください。「だれ一人取り残さない県政を」との玉城デニー沖縄県知事の言葉を胸に、頑張ります。どうぞ、よろしくお願いいたします。

松坂みちこ